

令和2年度・令和3年度 障がい者生活支援センター集計（4月～12月）同月間比

①支援内容別	春日苑				かすがい				JHNまるる				あっとわん				しゃきょう				合計			
	2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度	
電話による相談	413	413	331	386	261	301	591 (79)	678 (84)	838	838	713	713	121	124	118	119	544	550	398	400	2,177	2,226	2,151	2,296
メールによる相談	0		55		40		87 (5)		0		0		3		1		6		2		49		145	
来所による相談	2		2		26		43 (4)		204		161		90		72		74		80		396		358	
家庭訪問	147		98		109		111 (0)		106		149		2		4		115		116		479		478	
他機関への同行	13		29		26		78 (1)		97		100		2		4		70		75		208		286	
面談	20		17		31		28 (4)		22		22		3		10		38		71		114		148	
他機関からの相談	17		7		121		69 (3)		58		64		83		55		81		96		360		291	
連絡・調整・確認	571		506		406		436 (35)		699		729		60		38		845		936		2,581		2,645	
申請代行	42		10		15		23 (0)		6		10		0		0		18		12		81		55	
その他	0		2		16		35 (1)		0		2		0		0		5		10		21		49	
合計	1,225		1,057		1,051		1501 (132)		2,030		1,950		364		302		1,796		1,796		6,466		6,606	

※（）は地域生活支援拠点等の件数

②ニーズ別	春日苑				かすがい				JHNまるる				あっとわん				しゃきょう				合計			
	2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度		2年度		3年度	
福祉サービスの利用	216		164		199		442 (72)		257		234		188		131		766		870		1,626		1,841	
制度の利用	493	765	284	450	88	300	63 (3)	510 (75)	504	771	468	713	32	268	36	174	179	1,072	205	1,187	1,296	3,176	1,056	3,034
計画相談・セルフプラン	56		2		13		5 (0)		10		11		48		7		127		112		254		137	
障がいや症状の理解	4		2		33		6 (0)		219		315		0		1		15		98		271		422	
健康・医療	153	157	203	205	207	240	283 (14)	289 (14)	388	607	379	694	25	25	20	21	246	261	339	437	1,019	1,290	1,224	1,646
不安の解消・情緒安定	137		150		172		226 (17)		721		582		15		19		211		167		1,256		1,144	
家族関係・人間関係	56	193	54	204	154	326	218 (11)	444 (28)	285	1,006	362	944	31	46	19	38	173	384	225	392	699	1,955	878	2,022
就園・就学・進学	7		2		2		6 (1)		20		1		17		22		5		4		51		35	
幼稚園・保育園・小中学校・高校	5		14		5		4 (0)		13		4		36		56		2		6		61		84	
家計・金銭	31	220	48	186	94	369	99 (1)	353 (1)	28	266	59	282	1	4	2	9	84	303	136	404	238	1,162	344	1,234
生活支援	189		138		275		254 (0)		238		223		3		7		219		268		924		890	
就労	59		57		122		100 (0)		116		55		1		7		209		82		507		301	
社会参加・余暇活動	1		4		5		3 (0)		13		5		0		1		20		6		39		19	
権利擁護	3		0		42		38 (1)		0		0		0		0		12		12		57		50	
差別解消・合理的配慮	0		0		0		0 (0)		0		0		0		0		1		2		1		2	
発達相談	3		3		0		0 (0)		0		0		110		117		3		0		116		120	
子育て・育児	14		32		30		14 (0)		31		24		128		114		9		18		212		202	
安否確認	22		29		9		18 (10)		0		2		0		0		24		16		55		65	
その他	11		14		7		86 (25)		8		7		0		0		0		44		26		151	
合計	1,460		1,200		1,457		1865 (155)		2,851		2,731		635		559		2,305		2,610		8,708		8,965	

※（）は地域生活支援拠点等の件数

③期間における相談の傾向と所感	【傾向と所感】	【傾向と所感】	【傾向と所感】	【傾向と所感】	【傾向と所感】																		
	<p>・引き続き、地域包括支援センターやケアマネジャーから介護保険と障がい福祉サービスの連携依頼が多くあった。内容としては、障がい者手帳未取得の視覚障がい者への支援や、高齢者の就労継続支援事業所利用等であった。障がい者は、障がい認定されるまで6か月の待機があるので、ヘルパー利用開始まで時間がかかる。このため、本人にとって支援が必要なタイミングを逃さずサポートできるように各サービスを組み合わせ、担当者間で相談しながら対応していけると良い。また、連携を試みる際には担当外の業務についてはわからないことも多く、研修等でお互いに学びあえる場があるとよいと感じた。</p> <p>・市内の中核病院から、「術後完治している障がいの方がこだわりで受診し続けてしまっているため地域の医療につなげてほしい」という相談があった。調べてみると、身寄りのない独居で知的障がいのある本人が、複数の病院に過剰に受診していることがわかり、本人の気持ちに寄り添いながらも、状況を整理し合理的に受診していけるよう整えている。</p> <p>・障がいのある本人や子ども達に対しての支援について、子どもの相談支援事業所と共同して対応している。関係機関が多岐に渡るため、情報の共有が難しく、ケア会議を実施することになった。利用可能なサービスやサポートがあっても本人が拒否的である一方で、公的なサービスのみでは対応できない場面も多い事例のため、フォーマル・インフォーマル問わず相談しながら対応を模索している。</p>	<p>・精神障がい者の相談件数が年々増加している。計画相談に繋がるまで委託相談で支援をしていく中で、サービス利用にあたり、細かいことが気になったり、不安になる方がみえた。必要に応じて面談や関係機関とのやりとりも増加している。</p> <p>・措置児童の学校卒業後の居所について、入居していた自立援助ホームが立ち上げたシェアハウスに入居が決まったケースがあった。かすがいでは初めてのケースであり、従来の福祉サービスであるグループホームや施設入所ではないため、支援の手が途切れないよう関係者間で連携を図っていく。</p> <p>・一般就労で精神面などが崩れて退職や再就職に向けて就業・生活支援センターようわと連携するケースが複数あった。法定雇用率の関係もあり、本人が復帰できる見込みがない状況であるのに対して、会社が雇用率を気にして、ロクイチ報告（障がい者雇用義務がある企業に、6月1日時点の法定雇用率をハローワークへ報告する義務がある）に合わせてつなぎとめる傾向にある。傷病手当申請のための病院受診に同行したり、休みを利用して福祉サービス事業所の見学を行うなどの支援が例年より多かった。</p>	<p>・今年度に入り8050問題で相談に繋がった複数のケースの相談、訪問、他機関同行、行政や医療機関等との連絡調整に多くの時間を割くケースがあり、ケースによっては毎週のように対応が必要だった。これらのケースは今まで家族以外との関わりがほぼ無いことや、社会経験の不足、障がい特性を本人たちも初めて自覚されることも多く、時間をかけて丁寧な説明をしながら進めることを大切にしている。</p> <p>・上記以外でも高齢に限らず、親と生活している人が、このままでは共倒れしてしまう可能性が高いケースも複数あり、今後を見据えてグループホームへの入居に繋いだり、親や本人へのサービス利用を勧めているが簡単には生活やパターン、価値観を変えることも難しく、不安が強くなり、時間を要する。親世代が介護保険や障がい福祉サービス利用に消極的・否定的なケースも多くなる。</p> <p>・民生委員、地域福祉課、障がい福祉課を経由したまあるの相談に繋がったケースがあった。本人は何か仕事はされているも各種手続きとかはできず「なんで自分はこんなふうに行かないんだろう。」と悩みながら今まで生きてきた人だった。相談に繋がりがり状況を聞き精神科受診に繋いだ結果、診断が付き精神科デイケアや精神科訪問看護の利用、傷病手当金、失業給付の申請書類の記入や同行で支援している。このケース以外にも経済面を安定させるために雇用保険関連、障害年金相談・申請準備、生活保護申請など複数のニーズを同時進行する必要があるケースも多かった。</p>	<p>・全体的に相談件数が減少しているが、時期的に園や学校から指摘を受けて発達障がい相談という相談がいくつかあった。また、相談内容の傾向として、さまざまな機関と連携を図りながら支援をする世帯があり、連絡調整や確認をするケースが増えている。</p> <p>・療育を探している、特に放課後等デイサービスを探しているという相談では、事業所が増えたことで、選択肢が増えた反面、さまざまな支援内容を提供しているため、選び方に悩む保護者もいる。</p> <p>・不登校に関する相談がいくつかあった。保護者としては、日中の学校以外の場所や家族以外と関わる場所を探している様子があった。また、スクールソーシャルワーカーと連携を図るケースもある。</p> <p>・登園や降園時に子どもが危険な行動をするため、支援を希望されることがあった。保護者が複数の子どもを同時に対応することが難しく、ボランティアを依頼するが、安全確保ができないため、支援に入れないと断られることがあった。</p>	<p>・計画相談員のマッチングから一般相談へ繋がるケースが多い。必要なサービス調整などを行い、その後も計画相談員が決まるまで継続して支援をしている。</p> <p>・入所施設や日中支援型のグループホーム、医療的ケア児・者の対応ができる事業所、通院等乗降介助ができる事業所などが少なく、調整が困難な場合がある。他制度での対応や市外の事業所などに頼らざるを得ないといったことがあった。</p> <p>・引きこもりや高齢者虐待、家族への暴力など他機関・家族から相談が入り、支援に繋がるケースがあった。本人が受診を拒否していたり、受診をさせたい家族が会えない状況であったり様々な理由から、家族もしくは本人を中心に方針を決め、市、警察、関係機関などと連携を図り医療に繋げるための支援を行った。アルコール専門病院や市外の医療機関とのつながりが少ないことから、今後は、医療・保健分野との密な連携体制が必要であり、役割分担の重要性を感じている。また、近隣住民の協力を得て安否確認を行ったり、医療に繋がったケースもあった。インフォーマルな視点での協力体制、地域づくりが今後もより求められる。</p>	<p>障がい者生活支援センター集計(4～12月)</p> <table border="1"> <caption>障がい者生活支援センター集計(4～12月)</caption> <thead> <tr> <th>センター</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春日苑</td> <td>1225</td> <td>1057</td> </tr> <tr> <td>かすがい</td> <td>1051</td> <td>1501</td> </tr> <tr> <td>JHNまるる</td> <td>2030</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td>あっとわん</td> <td>364</td> <td>302</td> </tr> <tr> <td>しゃきょう</td> <td>1796</td> <td>1796</td> </tr> </tbody> </table>	センター	2年度	3年度	春日苑	1225	1057	かすがい	1051	1501	JHNまるる	2030	1950	あっとわん	364	302	しゃきょう	1796
センター	2年度	3年度																					
春日苑	1225	1057																					
かすがい	1051	1501																					
JHNまるる	2030	1950																					
あっとわん	364	302																					
しゃきょう	1796	1796																					

障がい種別割合(4月～12月)

	春日苑	かすがい	JHNまるる	あっとわん	しゃきょう
身体障がい	62.4%	7.0%	4.2%	4.5%	15.6%
知的障がい	16.9%	78.9%	7.0%	26.0%	21.5%
精神障がい	10.8%	10.5%	64.8%	0.5%	59.1%
その他	9.8%	3.6%	24.0%	69.0%	3.8%